



柿
安

2014年2月期

第2四半期決算説明会資料

2013年10月17日

株式会社 柿安本店

〈 業績について 〉

1. 2014年2月期 第2四半期決算損益概要
2. 2014年2月期 通期業績予想
3. 2014年2月期 出退店の状況および設備投資について

〈 上期の振り返りと今後について 〉

4. 上期の状況と今後の取り組みについて

1. 2014年2月期 第2四半期決算 損益概要

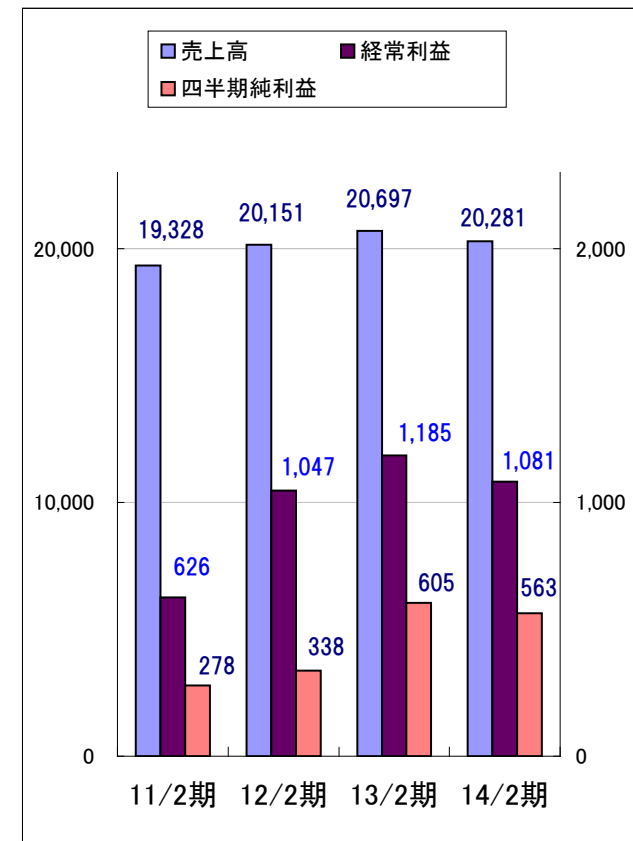
(1)2014年2月期 第2四半期決算 損益概要

〔第2四半期累計期間〕

(単位:百万円)

	2014年2月期 (実績)		2013年2月期 (実績)		増減比(%)		増減額	2014年2月期 (13年4月11日時点会社予想)			
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)				金額	構成比(%)	増減比(%)	増減額
売上高	20,281	100.0	20,697	100.0	△2.0		△415	20,899	100.0	△3.0	△617
売上原価	10,707	52.8	11,153	53.9	△4.0		△446	10,679	51.1	+0.3	+28
販管費	8,504	41.9	8,369	40.4	+1.6		+135	9,033	43.2	△5.9	△529
営業利益	1,069	5.3	1,174	5.7	△8.9		△104	1,186	5.7	△9.8	△116
経常利益	1,081	5.3	1,185	5.7	△8.7		△103	1,187	5.7	△8.9	△106
四半期純利益	563	2.8	605	2.9	△6.9		△42	644	3.1	△12.5	△80

(参考)直近4期第2四半期 業績推移



〔第1四半期会計期間〕

(単位:百万円)

	2014年2月期 (実績)	2013年2月期 (実績)	増減比(%)		増減額
	金額	金額			
売上高	9,850	9,983	△1.3		△132
売上原価	5,207	5,373	△3.1		△165
販管費	4,147	4,050	+2.4		+96
営業利益	495	558	△11.3		△63
経常利益	497	559	△11.1		△61
四半期純利益	259	290	△10.6		△30

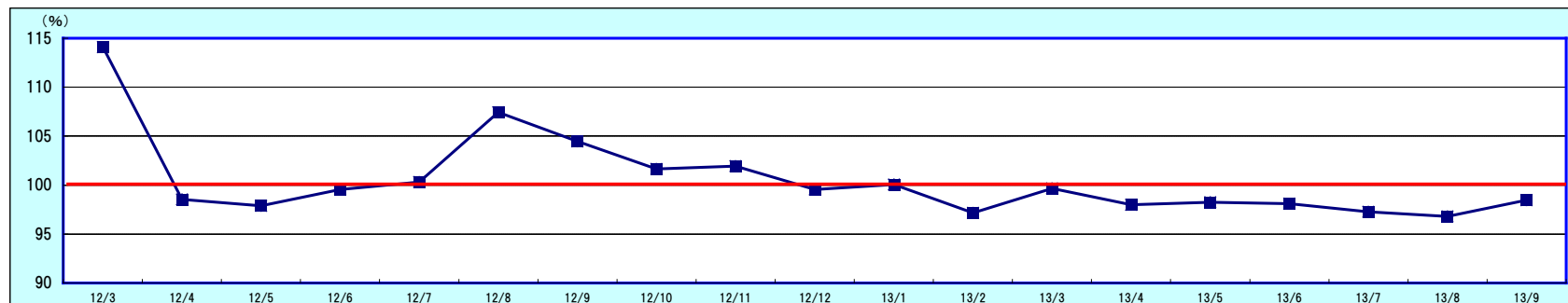
〔第2四半期会計期間〕

(単位:百万円)

	2014年2月期 (実績)	2013年2月期 (実績)	増減比(%)		増減額
	金額	金額			
売上高	10,431	10,714	△2.6		△283
売上原価	5,499	5,779	△4.9		△280
販管費	4,357	4,318	+0.9		+38
営業利益	574	616	△6.7		△41
経常利益	584	625	△6.7		△41
四半期純利益	303	315	△3.6		△11

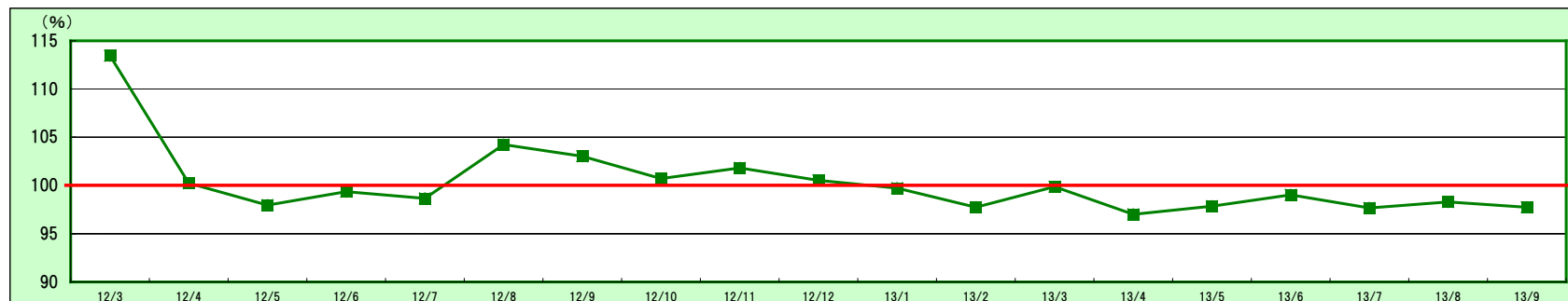
(2) 連結売上高の推移（月次売上高開示資料より、前年比推移）

全店



2013年2月期												2014年2月期							
12/3	12/4	12/5	12/6	12/7	12/8	12/9	12/10	12/11	12/12	13/1	13/2	13/3	13/4	13/5	13/6	13/7	13/8	13/9	
114.11	98.53	97.90	99.56	100.30	107.45	104.48	101.66	101.95	99.55	100.07	97.15	99.67	98.01	98.26	98.11	97.27	96.80	98.45	
103.19			102.26			102.62			99.11			98.67			97.39				
102.71						100.72						98.01							
101.67																			

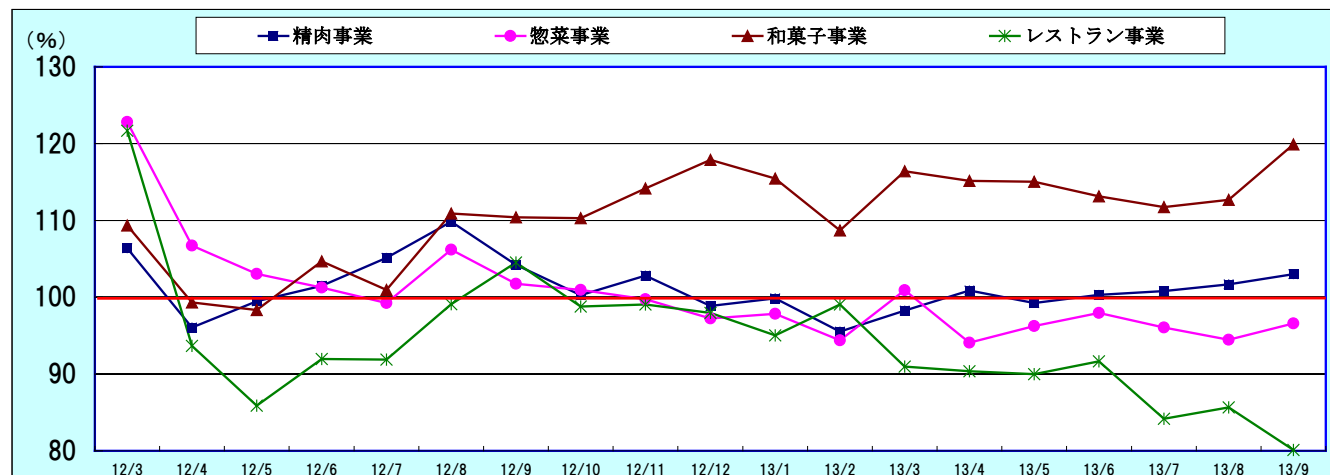
既存店



2013年2月期												2014年2月期							
12/3	12/4	12/5	12/6	12/7	12/8	12/9	12/10	12/11	12/12	13/1	13/2	13/3	13/4	13/5	13/6	13/7	13/8	13/9	
113.45	100.25	97.96	99.36	98.66	104.26	103.02	100.73	101.82	100.55	99.74	97.74	99.87	97.01	97.87	99.02	97.68	98.29	97.75	
103.68			100.81			101.92			99.67			98.29			98.30				
102.15						100.78						98.28							
101.52																			

(参考) セグメント別売上高 (月次売上高開示資料より、前年比推移)

全店



精肉事業

	第1Q	第2Q	累計
全店	99.45	100.94	100.20
既存店	100.17	101.98	101.07

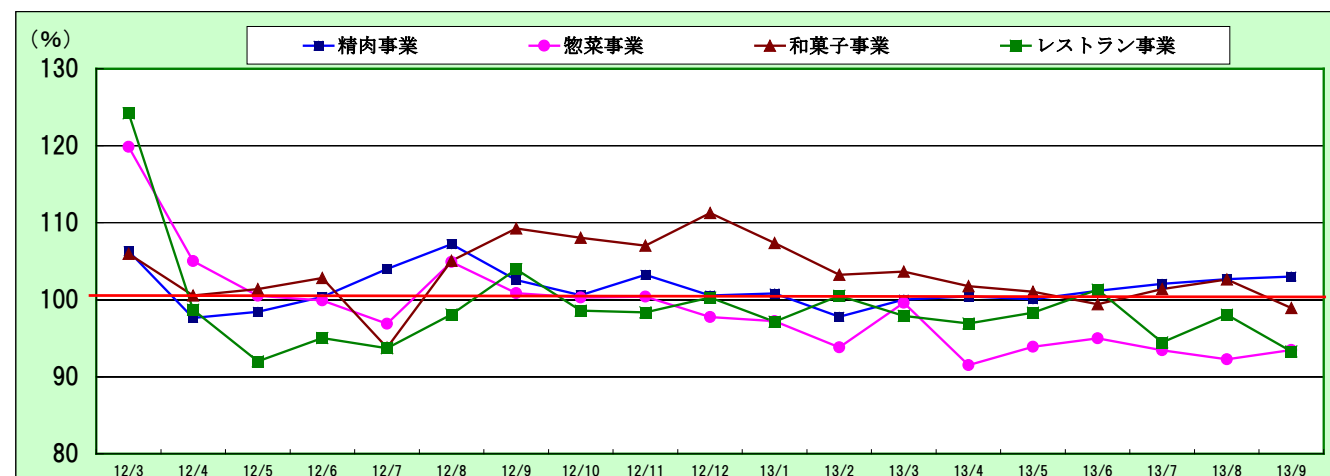
惣菜事業

	第1Q	第2Q	累計
全店	97.15	96.08	96.61
既存店	95.07	93.43	94.19

和菓子事業

	第1Q	第2Q	累計
全店	115.59	112.52	114.16
既存店	102.28	101.21	101.80

既存店



レストラン事業

	第1Q	第2Q	累計
全店	90.47	86.97	88.73
既存店	97.72	97.86	97.74

食品事業

	第1Q	第2Q	累計
全店	95.38	94.29	94.56

(3) セグメント概要

< 第2四半期累計期間 >

(単位:百万円)

	外部顧客に対する売上高				セグメント利益			
	2014年2月期 第2四半期 累計期間	2013年2月期 第2四半期 累計期間	前年同期比 (%)	差異	2014年2月期 第2四半期 累計期間	2013年2月期 第2四半期 累計期間	前年同期比 (%)	差異
精肉事業	6,963	6,949	100.2	+13	537	480	111.9	+57
惣菜事業	6,076	6,290	96.6	△ 214	550	801	68.7	△ 250
食品事業	1,596	1,690	94.5	△ 93	133	129	103.0	+3
和菓子事業	2,440	2,138	114.2	+302	151	118	127.4	+32
レストラン事業	3,191	3,596	88.7	△ 405	279	230	121.1	+48
その他事業	12	31	40.5	△ 18	△ 0	0	-	△ 0
(消去または全体)					△ 582	△ 586	-	+4
合計	20,281	20,697	98.0	△ 415	1,069	1,174	91.1	△ 104

< 参考 > 第1四半期会計期間

(単位:百万円)

	外部顧客に対する売上高				セグメント利益			
	2014年2月期 第1四半期 会計期間	2013年2月期 第1四半期 会計期間	前年同期比 (%)	差異	2014年2月期 第1四半期 会計期間	2013年2月期 第1四半期 会計期間	前年同期比 (%)	差異
精肉事業	3,450	3,470	99.4	△ 19	256	224	114.1	+31
惣菜事業	3,025	3,114	97.1	△ 88	261	440	59.4	△ 178
食品事業	405	424	95.6	△ 18	△ 23	△ 40	-	+16
和菓子事業	1,320	1,142	115.6	+178	142	101	139.5	+40
レストラン事業	1,639	1,812	90.5	△ 172	150	120	124.6	+29
その他事業	8	19	42.4	△ 11	△ 1	2	-	△ 3
(消去または全体)					△ 290	△ 291	-	+1
合計	9,850	9,983	98.7	△ 132	495	558	88.7	△ 63

< 参考 > 第2四半期会計期間

(単位:百万円)

	外部顧客に対する売上高				セグメント利益			
	2014年2月期 第2四半期 会計期間	2013年2月期 第2四半期 会計期間	前年同期比 (%)	差異	2014年2月期 第2四半期 会計期間	2013年2月期 第2四半期 会計期間	前年同期比 (%)	差異
精肉事業	3,512	3,479	100.9	+32	280	255	109.9	+25
惣菜事業	3,050	3,176	96.0	△ 125	289	361	80.1	△ 71
食品事業	1,191	1,266	94.1	△ 74	157	169	92.9	△ 12
和菓子事業	1,119	995	112.5	+124	9	17	55.0	△ 7
レストラン事業	1,551	1,784	87.0	△ 232	129	110	117.3	+19
その他事業	4	12	37.5	△ 7	0	△ 2	-	+2
(消去または全体)					△ 292	△ 295	-	+3
合計	10,431	10,714	97.4	△ 283	574	616	93.3	△ 41

2. 2014年2月期 通期業績予想

〔2014年2月期 通期業績予想〕

(単位: 百万円)

	2014年2月期 (予想)		2013年2月期 (実績)				2014年2月期 (13年4月11日時点会社予想)			
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	増減比(%)	増減額	金額	構成比(%)	増減比(%)	増減額
売上高	42,499	100.0	42,684	100.0	△0.4	△185	43,679	100.0	△2.7	△1,180
売上原価	22,298	52.5	23,079	54.1	△3.4	△781	22,240	50.9	+0.3	+57
販管費	17,581	41.3	16,988	39.8	+3.5	+593	18,598	42.6	△5.5	△1,016
営業利益	2,619	6.2	2,617	6.1	+0.1	+2	2,840	6.5	△7.8	△220
経常利益	2,635	6.2	2,677	6.3	△1.6	△41	2,845	6.5	△7.4	△209
当期純利益	1,414	3.3	1,309	3.1	+8.0	+105	1,593	3.6	△11.2	△179

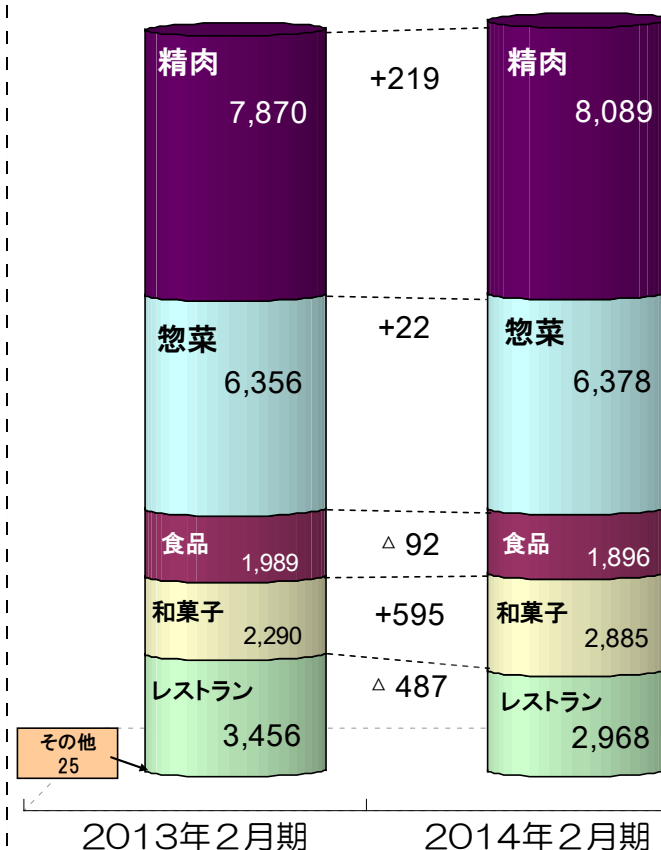
〔参考 下期〕

(単位: 百万円)

	2014年2月期 (予想)		2013年2月期 (実績)				2014年2月期 (13年4月11日時点会社予想)			
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	増減比(%)	増減額	金額	構成比(%)	増減比(%)	増減額
売上高	22,217	100.0	21,987	100.0	+1.0	+229	22,780	100.0	△2.5	△562
売上原価	11,590	52.2	11,925	54.2	△2.8	△335	11,561	50.7	+0.3	+29
販管費	9,076	40.8	8,618	39.2	+5.3	+457	9,564	42.0	△5.1	△487
営業利益	1,549	7.0	1,442	6.6	+7.4	+107	1,654	7.3	△6.3	△104
経常利益	1,553	7.0	1,491	6.8	+4.1	+61	1,657	7.3	△6.2	△103
四半期純利益	850	3.8	703	3.2	+20.9	+147	949	4.2	△10.4	△98

< 2014年2月期 下期の売上高予想について >

(単位: 百万円)



3. 2014年2月期 出退店の状況および設備投資について

(1) 2014年2月期 出退店の状況

〔2014年2月期 通期計画〕

	前期末	当期末		
		出店	退店	(改装)
精肉事業	35	2	-	(1)
惣菜事業	83	4	1	(5)
食品事業	28	-	3	-
和菓子事業	111	34	3	(2)
レストラン事業	33	-	3	(1)
合計	290	40	10	(9)

(参考) 上期実績

	前期末	上期末		
		出店	退店	(改装)
精肉事業	35	1	-	(1)
惣菜事業	83	4	-	(2)
食品事業	28	-	-	-
和菓子事業	111	15	2	-
レストラン事業	33	-	2	-
合計	290	20	4	(3)

(参考) 下期計画

	上期末	当期末		
		出店	退店	(改装)
精肉事業	36	1	-	-
惣菜事業	87	-	1	(3)
食品事業	28	-	3	-
和菓子事業	124	19	1	(2)
レストラン事業	31	-	1	(1)
合計	306	20	6	(6)

(2) 2014年2月期 設備投資について

(単位:百万円)

	上期実績	下期修正計画	年間修正計画
新規出店	20店 247	20店 262	40店 510
改装等	3店 83	6店 52	9店 136
その他	96	190	286
<計>	427	505	933

<参考> 当初設備投資計画

(単位:百万円)

	上期計画	下期計画	年間計画
新規出店	17店 360	15店 316	32店 677
改装等	7店 146	2店 48	9店 194
その他	181	167	349
<計>	688	531	1,220

4. 上期の状況と今後の取り組みについて

和菓子事業

- ・出店による成長加速
- ・新業態開発、「口福堂」業態の複合化着手
- ・商品力向上
 - … 商品開発＋生産・物流体制の強化

精肉事業

- ・精肉類、肉加工品の深耕
- ・[精肉＋惣菜]複合型店舗の強化

惣菜事業・レストラン事業

- ・業態コンセプトの再構築

原点回帰 **+** 変化への対応

- ・おいしさ、育む。

素材への
こだわり **+** 職人の
技と発想

『おいしさ、育む。』



柿安のおいしさは、3つの「育む」から。

①素材へのこだわりが、育む。

- ◎松阪牛、柿安牛など、優れた血統牛を素牛とし、経験豊かな牛飼いのプロの手で飼料や肥育環境にこだわって生まれた素材が、柿安のおいしさのもと。
- ◎生産農家と連携し、素材の持ち味を引き出す農法で育まれた野菜も、柿安のおいしさ。

②職人の技と発想が、育む。

- ◎142年の伝統に育まれてきた職人の技を受け継ぐのはもちろん、新しい時代の新しい味覚に応える発想の新しさも同時に育む。常に新しいおいしさが生まれる。
- ◎店頭の厨房での手づくり。目の前で調理する姿を、お客様にあえて見ていただくこと。それは、「できたて・つくりたて」というおいしさの価値も、育んでいるということ。

③おもてなしの心が、育む。

- ◎素材、料理はもちろん、接客の際の笑顔や言葉づかい、調度や器への気づかい、品物の包み方に至るまで、日頃から社員一人ひとりが、おもてなしの心を育んでいる。それが、単なる満足にとどまらない、幸福なおいしさを生む。

＜主な取り組み方針＞

- ☆牛肉、特に「松阪牛」へのこだわりの深耕
- ☆豚肉、鶏肉の育成
- ☆「シーフード」「お米、野菜などの農産物」へのこだわり展開
- ☆「店内調理」の優位性の再構築
- ☆職人集団の技術力結集
- ☆対面販売、接客サービスによる商品との相乗付加価値づくり

4-① 商品強化について

- ・ 主力定番商品の更なる商品力向上
- ・ 次の定番商品づくり
- ・ 季節、期間限定商品の強化、スピードアップ

＜和菓子事業＞



全面刷新へ

次の定番商品づくり



＜精肉事業＞

主力定番商品のブラッシュアップ



精肉“惣菜”強化へ

＜惣菜事業＞



お米への
こだわり強化



＜レストラン事業＞

「シーフード」の本格展開

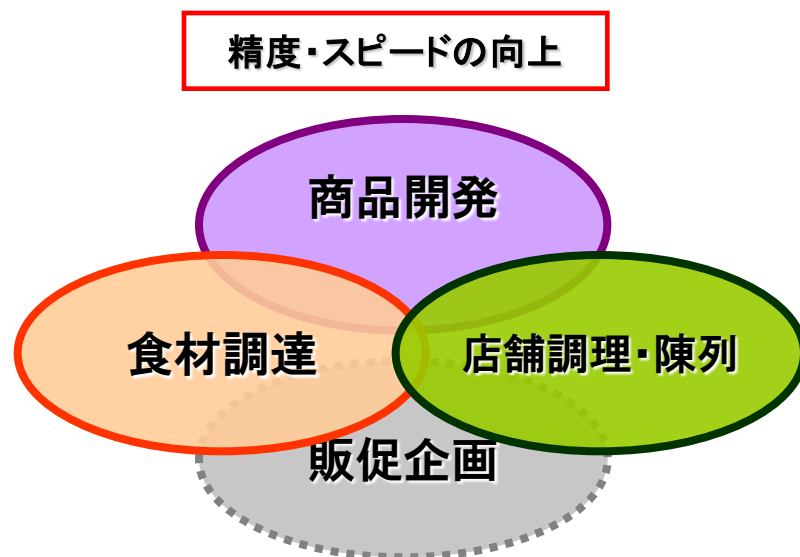


スペシャルメニューの投入

フォアグラ・
トリュフメニュー



4-② 商品開発体制について



・営業本部の統合

⇒ 「営業部門」+「商品開発・食材調達」

・「事業戦略室」による推進管理の整備

“新”東京本部

『商品開発センター(仮)』

(平成25年10月21日稼働開始)

- ・商品開発および陳列テスト
- ・調理実習、研修コンテンツ作成



4-③ 食材の強化について

- ・「おいしい」こだわりの食材
- ・生産者の顔の見える食材
- ・柿安オリジナル食材

精肉類・加工品の更なる強化

「シーフード」
「農産物(野菜・穀物…お米、小豆など)」
への、こだわり拡大

生産者・生産団体(および支援行政)
との関係強化

- ・産地フェア、“県”企画等による
協力関係の強化



柿安牧場・提携生産者の機能強化

- ・柿安オリジナルの拡大、品質向上
- ・次の柿安オリジナルの育成



生産者の顔の見える最高の食材



4-④ 業態コンセプトの再構築

原点回帰



変化への対応

<惣菜>

- ・テイクアウト ザ フルコース
- ・店内厨房、料理人によるできたての提供
- ・和洋中のヘルシーメニュー

<レストラン>

- ・好きなものをお好きなだけ選べる
- ・安心、安全、健康へのこだわり
- ・和洋中のヘルシーメニュー

● 「シーフード」への本格取り組みによるメニューバリエーション拡大



● 主力定番商品の更なる商品力向上



● 復刻版メニューのブラッシュアップ

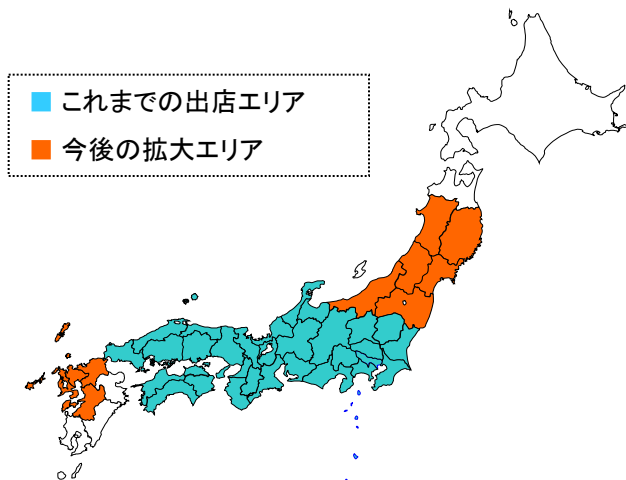


4-⑤ 和菓子事業について

出店による成長加速

・出店エリアの拡大

⇒ 東北・九州エリアへ展開拡大



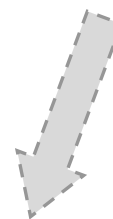
・「スイーツファクトリー」生産設備の増強

+

物流体制の強化

次への準備

『口福堂』
(物販店)



・複合型店舗

・新業態店舗



「柏の葉」店 (イートイン付帯)



甘味処
(テイクアウト付帯)

4-⑥ タイアップ企画による浸透力向上

集客力の向上

商品開発



タイアップ

県

生産者団体

食の先駆者

著名人、他



三重、島根県知事と



＜アラスカ産天然銀鮭使用＞
カリカリーモンドの鮭南蛮
～タルタルソース～



ワインと楽しむ
アラスカシーフードのアミューズプレート



料理研究家 柿安本店総料理長
園山真希絵氏 & 興 十郎

おいしさ、育む。

